

福島県教育旅行ジャーナル

Fukushima Prefecture Educational travel journal

Vol.2
平成25年10月発行

発行責任者 福島県観光交流課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
TEL:024-521-7286 FAX:024-521-7888
E-mail:tourism@pref.fukushima.jp

編集 教育旅行再生のための調査・情報発信事業事務局
〒963-8032 福島県郡山市字下亀田17番地の7 (株ル・プロジェクト)
TEL:024-934-5020 FAX:024-935-0760
E-mail:kyoiku.travel@leprojet.co.jp

福島県内では地域の自然や文化を生かした、特色ある教育旅行が実施されています。

今回ご紹介するのは、青森県むつ市立関根小学校です。青森県むつ市は戊辰戦争で敗れた会津藩が移住した地域で、会津若松市と深いむすびつきがあります。今回は会津藩校日新館でふるさとを愛する心を学習しました。

ふるさとを愛する心を育む会津での教育旅行

会津、仙台方面へ2泊3日の修学旅行 青森県むつ市立関根小学校



青森県むつ市立関根小学校が訪れたのは、暑さが増してきた7月のこと。宿にバスが到着すると「こんにちはー!」という元気な挨拶とともに、笑顔いっぱいの6年生10名が入ってきました。

今回は、引率中の佐々木秀信校長先生に貴重なお時間をいただき、お話をお伺いしました。

いきなりですが、今回なぜ修学旅行を福島県に変更されたのか教えてください。

佐々木校長先生:青森県は修学旅行先に北海道を選んでいる学校が多く、わが校もそうでした。しかし、むつ市と会津若松市は歴史的なつながりが深く^{※1}姉妹都市を締結していることから、改めて姉妹都市・会津の歴史と魅力を児童たちに知ってほしいと思い計画しました。

保護者の反応は、いかがでしたか?

佐々木校長先生:保護者は、修学旅行を福島県で実施した際に見込まれる教育効果や魅力などに理解を示してくださいました。また、青森県にも原発があり放射能への正しい知識があったため、大きな反対もありませんでした。

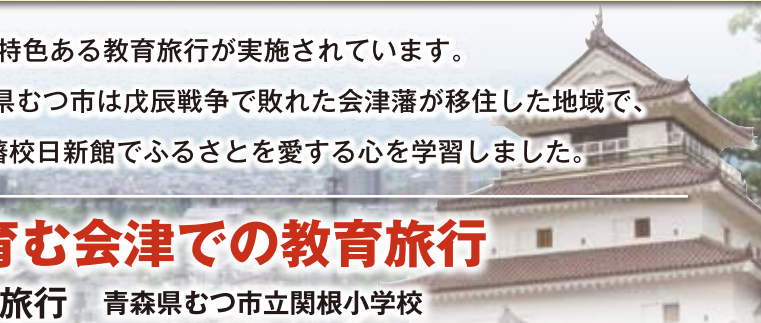
福島県で学んでほしいことは?

佐々木校長先生:福島県に住むみなさんは、本当にふるさとである福島県が好きですね。そんな福島県の方々と触れ合うことで、生まれた地を愛する心を感じ取ってほしいと思います。また、そのような福島県のみなさんが復興に向けて一致協力して頑張っている姿を見て学んでほしいです。

福島県における教育旅行のための取り組みについて、どのようなことを期待しますか?

佐々木校長先生:そうですね、会津藩校日新館のような体験型の施設は教育旅行にはたいへん魅力的です。もっと増やしていただけたらありがたいです。

※1 戊辰戦争で敗れた会津藩の復興の地となった^{とみな}斗南藩は、現在の青森県むつ市を中心とした地域。このゆかりを契機に昭和59年9月、鶴ヶ城の築城600年とむつ市の市制25周年を記念して、むつ市と会津若松市は姉妹都市の締結を宣言した。



▲会津藩校日新館の坐禅体験で心身を清める児童たち

修学旅行日程

行き先 福島県会津若松市、宮城県仙台市
実施日 平成25年7月10日(水)~12日(金)
人数 10名

●会津若松市

鶴ヶ城や白虎隊に代表される歴史、伝統、文化が現代に息づく、福島県を代表する観光地です。多くの史跡や名勝から、会津の歴史を肌で感じ、学ぶことができます。



1日目 (会津若松市)	2日目 (会津若松市・仙台市)	3日目 (仙台市)
会津藩校日新館 坐禅体験 バス:20分 飯盛山 徒歩:5分 さざえ堂	自主研修 3つの班に分かれて鶴ヶ城見学、起き上がり小法師作りなど 宮城県仙台市へ移動 新幹線など:120分 クリネックススタジアム宮城 野球観戦	八木山動物園 徒歩:7分 八木山ペニーランド

VOICE

ふくしまへメッセージ



青森県むつ市立関根小学校 佐々木 秀信 校長先生

実は、平成23年度の修学旅行から会津方面に変更するということが決まっていた。しかし東日本大震災がおこり、様々な混乱のなか断念。事態が落ち着いてきた今年(平成25年度)に2年越しの来訪を実現でき、とてもうれしく思います。来年度もぜひ会津にしたいと思っています。